

第28回 日本行動医学会学術総会

日時:

【オンデマンド配信】11月10日
(水)~30日(火)

【ライブ配信】11月27日(土)~
28日(日)

開催形式: Web開催

テーマ: 行動医学を俯瞰する—予防
から緩和ケアまで

後期参加登録期限: 11月30日(火)
正午

参加費: 会員 7000 円, 非会員 8000
円, 学生 3000 円

学会運営担当: 株式会社プロコムイ
ンターナショナル

〒135-0063 東京都江東区有明
3-6-11 TFTビル東館9階

☎ 03-5520-8821

✉ jsbm28@procom-i.jp

日本在宅看護学会 第11回学術集会

日時: 11月13日(土)~14日(日)

開催形式: Web開催 (Zoom, 他)

テーマ: 危機の時代における在宅看
護の覚悟と挑戦

プログラム: 学術集会会長講演「危
機時代における持続可能な在宅看
護の提供」結城美智子(北海道大学
大学院保健科学研究所教授)／特別
講演Ⅰ『「ふだんの暮らし」に深く
浸透する在宅看護の視点」河原加代
子(東京都立大学健康福祉学部教
授)／Ⅱ「公衆衛生の緊急事態に在
宅看護職が知っておきたいリスクコ
ミュニケーション」蝦名玲子(グ
ローバルヘルスコミュニケーション
ズ)／Ⅲ「医療資源の少ない地域で
の遠隔医療の方策」大津崇輔(経済

産業省)／教育講演Ⅰ「訪問看護師
のフィジカルアセスメントと看護ケ
ア—人の進化から学ぶ看護」平原優
美(あすか山訪問看護ステーション
統括所長)／Ⅱ「東日本大震災・福
島原子力発電所事故後のこれまで、
そしてこれから—被災地で求められ
る支援」大川貴子(福島県立医科大学
看護学部准教授)／Ⅲ「在宅ケア
を受ける患者・家族からの暴力・ハ
ラスメント防止方策—訪問看護利用
者へのケアの質の維持, スタッフの
安全確保」三木明子(関西医科大学
看護学部教授)／パネルディスカッ
ション(ライブ配信)Ⅰ「在宅看護
の予防的活動による基礎強化」前田
直宏(帝京大学医療技術学部助教),
高橋洋子(おもて参道訪問看護
ステーション所長), 黒沢泰子
(黒沢クリニック)／Ⅱ「危機／災
害を経験して, 次の危機／災害に備
える」木村浩美(訪問看護ステー
ション清雅苑管理者), 廣井三紀
(細木病院在宅部長), 岩本大希
(Wyl株式会社代表取締役)／シン
ポジウム(ライブ配信)Ⅰ「新卒訪
問看護師がイキイキ育つプログラム
と環境づくり」今野好江(北海道訪
問看護ステーション連絡協議会代
表), 川添高志(ケアプロ株式会社
代表取締役), 森下幸子(高知県立
大学教授)／Ⅱ「地域特性と在宅看
護」柏木久美子(福島県立医科大学
会津医療センター奥会津在宅医療セ
ンター), 富山鈴華(沖縄県立南部
医療センター・こども医療センター
副看護師長), 中村裕美子(大阪府
立大学名誉教授)／Ⅲ「医療的ケア
を必要とする子どもの健やかな成長
への支援」山本詩子(母子訪問看護
ステーション山本管理者), 市原美
恵(ホームホスピス宮崎), 堤育子

(ホームホスピス宮崎), 黒木健太
(フローレンス障害児がぞく伴奏局
マネージャー)／理事会業務委員会
企画指定交流集会(ライブ配信)
「With コロナ時代の在宅看護—経験
を語り合い明日につなげよう」／学
術集会企画委員会企画指定交流集会
(ライブ配信)Ⅰ「想いをかなえる
看護の仲間 看護カフェ『参看日』」
／Ⅱ「療養者と市民の支え合う力を
信じて—在宅ホスピスボランティア
活動の育成」／市民公開講座Ⅰ「住
み慣れた地域で最後まで自分らしく
暮らす」青柳道子(北海道大学大学
院保健科学研究所講師), Ⅱ「医療
的ケアが必要でも安心して暮らせる
社会を」内多勝康(国立成育医療研
究センターもみじの家ハウスマネー
ジャー)／教育セミナーⅠ「今回の
保健師助産師看護師学校養成所指定
規則改正でどのような学生が育成さ
れるのか」清水準一(東京医療保健
大学千葉看護学部教授)／Ⅱ「被災
者支援のための支援」早野貴美子
(防衛医科大学校看護学科教授)／
Ⅲ「コロナ禍だからこそ見えてきた
看護の底力—退院支援, 意思決定支
援」宇都宮宏子(在宅ケア移行支援
研究所)／Ⅳ「口腔内のアセスメン
トとケア」村松真澄(札幌市立大学
看護学部准教授)／Ⅴ「『聞き書き』
の教育への応用」照井レナ(小樽商
科大学)／Ⅵ「薬剤師による在宅療
養支援のポイント」白石丈也(けや
木薬局管理者)／共催セミナー(ラ
イブ配信)(共催社: グラクソ・ス
ミスクライン株式会社)「80歳ま
でに3人に1人が発症する可能性
のある帯状疱疹, 看護師によるコ
ミュニケーション戦略」操華子(静
岡県立大学大学院看護学研究科)／
他

参加費(後期登録): 会員 1 万円,
非会員 1 万 2000 円

登録方法：下記 URL から

URL zaitakukango.com/shukai_11th/index.html

登録締切：11月4日（木）

問い合わせ先：イー・シー・プロ内
運営事務局

〒060-0807 北海道札幌市北区
北7条西4-8-3 北口ヨシヤビル
5階

☎011-299-5910

✉11-zaitakukango@ec.pro.co.jp

第52回日本看護学会 学術集会

日時：

【ライブ配信】11月18日（木）～
19日（金）

【オンデマンド配信】11月26日
（金）～12月26日（日）

開催形式：Web開催

テーマ：看護の力で健康な社会を！

プログラム：基調講演「看護の力で健康な社会を！」福井トシ子（日本看護学会学術集会会長）／特別講演1「2040年を見据えた看護の課題とその対応」井伊久美子（日本看護協会副会長）／2-2「AI時代におけるこれからの看護とは」真田弘美（東京大学大学院医学系研究科老年看護学／創傷看護学教授）／3「新型コロナウイルス感染症における日本の医療体制（仮）」尾身茂（地域医療推進機構理事長）／教育講演1「未来に向かって看護の真価を発揮—生涯にわたり専門職の誇りと自覚を持続ける」手島恵（千葉大学大学院看護学研究院看護学研究科教授）／2「データヘルス改革によって医療・看護現場がどう変わるか—健康寿命の延伸、効果的・効率的な医療・看護サービスを目指して」北岡有喜（国立病院機構京都医療センター医療情報部長）／3「これからの社会に期待される看護の役割—

看護の力で健康な社会を！（仮）」大谷泰夫（神奈川県立保健福祉大学理事長）／4「コロナ禍におけるハラスメント対策—看護職をとりまく状況から」友納理緒（日本看護協会参与）／シンポジウム1「母子が健やかに子育てできるまちづくりに取組もう！」佐藤拓代（母子保健推進会議会長）、津山美由紀（長野県須坂市健康福祉部健康づくり課課長補佐）、本藤美奈子（長野県看護協会助産師職能理事）、猪瀬紗都子（長野県立病院機構長野県立信州医療センター看護師長）／2「タスク・シフト／シェアの流れに看護はどう対応していくべきか—看護の専門性を発揮するタスク・シフト／シェア」井本寛子（日本看護協会常任理事）、他／3「2025年に向け、あなたの施設で必要な人財は？—『特定行為研修を活用したマネジメント』」吉岡佐知子（松江市立病院看護局長）、新美保恵（川崎医科大学総合医療センター看護部長）、樋口秋緒（北農会恵み野訪問看護ステーション「はあと」所長）／4「『新型コロナウイルス感染症から学ぶ』—保健・医療・介護・福祉の連携を考える」松本珠実（大阪市健康局健康推進部健康施策課保健主幹）、浅香えみ子（東京医科歯科大学医学部附属病院病院長補佐）、朝野愛子（今山会特別養護老人ホーム寿生苑統括施設長）／交流集会1「はじめよう！地域課題の解決にむけた事例検討会—保健師・助産師・看護師がつながる新たなカタチ」岩本里織（神戸市看護大学公衆衛生看護学教授）、萱間真美（聖路加国際大学大学院看護学研究科精神看護学教授）／2「看護の力をさらに引き出す—看護業務の効率化を進めよう！」保坂明美（トランスユイット訪問看護ステーションフレンズ管理

者）、馬場崎喜美子（ハートフルアマノリハビリテーション病院法人企画部統括看護管理者）／3「知ってトクするナースセンター活用術！—仕事探しだけじゃない！あなたのキャリアをキャリアコンサルタントが支援します」廣島博美（神奈川県看護協会神奈川県ナースセンター課長）、河井友子（静岡県看護協会静岡県ナースセンター所長）、長谷川陽一（日本看護協会労働政策部中央ナースセンター課）／4「多職種協働に向けたDiNQLデータの活用—労働と看護の質向上を目指して」松本美保子（大樹会総合病院回生病院副看護部長）、佐藤浩二（豊田会刈谷豊田総合病院安全環境管理室看護師長）／5「看護の力、新たなアイデアで健康な社会をつくろう！—看護職の地域における活動の場の広がり」高橋弘枝（大阪府看護協会会長）、島袋富美子（沖縄県看護協会専務理事）、渡邊カヨ子（サロンみんなの保健室代表）／6「継続教育の形が変わる—オンライン教材を活用した看護実践力の強化」西村礼子（東京医療保健大学医療保健学部看護学科准教授）、松永智香（高知県厚生農業協同組合連合会JA高知病院副院長）／7「2040年を見据えた看護職資格の活用基盤の強化—20年後も人々の健康を支えるために」秋山智弥（日本看護協会副会長）、上田順子（北海道看護協会会長）、習田由美子（厚生労働省医政局看護課看護サービス推進室長）／8「看護が健康な社会をつくるためのリーダーシップとエビデンス」大田えりか（聖路加国際大学大学院看護学研究科国際看護学教授）、町屋晴美（済生会本部看護室室長）、山本則子（東京大学大学院医学系研究科高齢者在宅長期ケア看護学／緩和ケア看護学教授）／都道府県看護協

会公募企画4「愛知県：地区支部が初動する災害時応援体制—医療機関からのSOS情報をキャッチし、応援体制を整える」高木仁美（愛知県看護協会専務理事）、間瀬有奈（豊橋市民病院看護局長）／5「新潟県：専門性の高い看護職員の育成に向けて—県内の各機関と連携しての取り組み」／6「奈良県：在宅看護特別教育プログラム—看護学生の時から看護実践力を育てる継続教育プログラム」伊藤絹枝（奈良県看護協会ホームナースングセンター長）、小竹久実子（奈良県立医科大学医学部看護学科教授）、平井彩夏（橿原訪問看護ステーション訪問看護師）／一般公募企画3「行政と特定機能病院が連携したフレイル／オーラルフレイル予防」渡邊仁美（鳥取大学医学部附属病院看護部）

参加登録費：会員9900円，非会員1万4850円，学生4400円

参加登録方法：下記URLから

[URL](https://2021makuhari.jnagakkai.jp/index.html) 2021makuhari.jnagakkai.jp/index.html

運営事務局：幕張メッセ・事業企画課

〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1

☎043-296-0623

✉2021makuhari@jnagakkai.jp

第36回 日本国際保健医療学会 学術大会

日時：11月27日（土）～28日（日）

開催形式：Web開催

テーマ：パンデミック後の持続可能な保健医療に向けた国際協力

事前参加登録受付期限：11月12日（金）

参加登録費：会員5000円，非会員7000円，学生会員2000円，学生非会員3000円

事前参加登録問い合わせ先：株式会社コムラ「第36回日本国際保健医療学会学術大会」係

〒501-2517 岐阜県岐阜市三輪ぶりとびあ3

✉jaih36@kohmura.co.jp

☎058-229-5858

学術大会事務局：医薬基盤・健康・栄養研究所国際栄養情報センター
〒162-8636 東京都新宿区戸山1-23-1

✉jaih-office@umin.ac.jp

日本性感染症学会 第34回学術大会

日時：11月27日（土）～28日（日）

テーマ：コロナ時代の性感染症を考える

開催形式：Web開催

事務局：金沢医科大学産科婦人科学
〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1-1

運営事務局：株式会社プランニングウィル内

〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-5 石渡ビル6階

☎03-6801-8084

✉34sti2021@pw-co.jp

第69回 日本職業・災害医学会 学術大会

日時：11月27日（土）～28日（日）

開催形式：web開催

テーマ：コロナ禍を経て職業・災害医学を再考する

大会事務局：労働者健康安全機構東京労災病院

〒143-0013 東京都大田区大森南4-13-21

☎03-3742-7301

✉jsomt69@tokyoh.johas.go.jp

学会事務局：総合研修センター内
〒211-8510 神奈川県川崎市中

原区木月住吉町1-1

☎044-430-5236

[URL](http://www.jsomt.jp) www.jsomt.jp

学術大会運営事務局：株式会社プロコムインターナショナル

〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館9階

☎03-5520-8821

✉jsomt69@procom-i.jp

日本健康福祉政策学会 第4回オンライン セミナー

日時：12月4日（土）

テーマ：障害のある人と健康福祉

プログラム：報告1「『障害』の捉え方の変遷とそこから見えること（仮）」増田一世（やどかりの里）／報告2「保健及び公衆衛生領域での『障害』の位置付けの変化（仮）」松田正己（東都大学沼津ヒューマンケア学部）／指定発言「障害のある人との健康福祉活動，専門職の教育（仮）」／全体討論

参加申込期限：11月30日（火）

問い合わせ先：日本健康福祉政策学会事務局

〒337-0026 埼玉県さいたま市見沼区染谷1177-4 やどかり情報館

☎048-680-1891

✉kenkouhukushi@yadokarinosato.org

第23回日本子ども 健康科学学会学術大会

日時：12月11日（土）～12日（日）

開催形式：実地会場・Web開催

※オンデマンド配信期間：12月15日（水）～12月末

会場：名古屋大学大幸キャンパス東館（愛知県名古屋市）

テーマ：生きる力・つながる力

メインプログラム：特別講演

「COVID-19 感染状況下での子どもと家族への取り組み—病気をもつ子どもと家族を中心に」 田村恵美（埼玉県立小児医療センター）／理事会企画研修会ワークショップ「子どもに振り回されない技術」奥田健次（日本子ども健康科学会理事長）／教育講演Ⅰ「食物アレルギーの治療とケア 最前線！『食物アレルギー：昔の常識・今の非常識』」伊藤浩明（あいち小児総合保健医療センターセンター長）／教育講演Ⅱ「子どもにやさしい療養環境—ヘルスケアとアート」鈴木賢一（名古屋市立大学芸術工学研究科教授）／シンポジウム A「学びの場がもつ力を考える—入院・治療に臨む子どもへの学習支援」牧田夏美（名古屋大学医学部附属病院）、梶山早苗（名古屋大学医学部附属病院）、成田佳総（大府特別支援学校施設内教育名大病院主任）、山田佳織（名古屋大学医学部附属病院）、藤田勝由（患者家族）／シンポジウム B「つながりを大切にしようだい支援」清田悠代（しぶたね理事長）、滝良梨子（名古屋大学医学部附属病院）、佐々木美和（名古屋大学医学部附属病院）、若子静保（東京大学大学院教育研究科）、湯浅正太（鉄蕉会亀田総合病院小児科部長）

事前参加申込期限：

【現地参加・リアル配信】11月30日（火）

【オンデマンド配信】12月15日（水）

参加費：

【事前申込】会員 4000 円、非会員 6000 円、学生・大学院生 1000 円
【当日】会員 5000 円、非会員 7000 円、学生・大学院生 1000 円

学術大会運営事務局：アレルギー支援ネットワーク

☎ 052-485-5208

✉ jshsc23th@gmail.com

学術大会事務局：名古屋大学大学院医学系研究科内（事務局長：新家一輝）

〒461-8673 愛知県名古屋市東区大幸南 1-1-20

✉ confe23@jshschild.jp

第 92 回 日本衛生学会学術総会

テーマ：ポストコロナ社会の衛生学

日時：2022 年 3 月 21 日（月・祝）～23 日（水）

会場：兵庫医科大学平成記念会館・教育研究棟（兵庫県西宮市）

参加費：

【事前（2022 年 2 月 21 日まで）】

一般 8000 円、学生 5000 円、演題登録料（一般演題筆頭者）3000 円

【当日】一般 9000 円、学生 5000 円

一般演題募集受付期限：11 月 15 日（月）

総会事務局：兵庫医科大学公衆衛生学

〒663-8501 西宮市武庫川町 1-1

☎ 0798-45-6566

総会運営事務局：株式会社プロコム
インターナショナル

〒135-0063 東京都江東区有明 3-6-11 TFT ビル東館 9 階

☎ 03-5520-8821

✉ jsh92@procom-i.jp

開催情報は 9 月 27 日現在のものです。最新の情報は主催者にお問い合わせください。

● ● ●

本欄へ掲載を希望する学会・研究会・講演会などのお知らせがありましたら、本誌編集室までお送りください。

● ● ●

〒113-8719

東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 03-3817-5774

✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp